

ヘアドライヤーを調べてみました①

テスト期間

平成29年11月～平成30年3月

テスト対象品

北陸三県の家電量販店等で購入したヘアドライヤー6銘柄



No.1



No.2



No.3



No.4



No.5



No.6

表1 テスト対象品の主な表示及び仕様等

No.		1	2	3	4	5	6
定格電圧(V)		AC100	AC100	AC100	AC100	AC100	AC100
定格消費電力(W)	表示	1200	1200	1200	1200	1300	1300
	実測	1157	1170	1150	1120	1237	1380
定格周波数(Hz)		50/60	50/60	50/60	50/60	50/60	50/60
PSEマーク		○	○	○	○	○	○
Sマーク		—	○	○	○	○	—
外形寸法 高さ×幅×奥行き (mm)	表示	208×197×76	—	—	218×232×88	215×210×85	283×220×90
	実測	207×197×76	217×195×79	213×200×87	216×233×89	215×205×85	283×220×88
本体重量(g)	表示	440	475	470	460	515	540
	実測	446	455	472	476	523	549
税込み価格(円)		1,728	13,824	5,940	2,052	3,002	5,400

ヘアドライヤーを調べてみました②

テスト結果

■表示事項

- 電気用品安全法に定められている、「定格電圧」、「定格消費電力」、「定格周波数」、「事業者名」及び「PSEマーク」は、全銘柄で表示されていました。
- 電気製品の安全のため、第三者認証機関が試験や調査を行い、安全性を客観的に確認したことを示す「Sマーク」は、任意ですが、4銘柄で表示されていました。

■安全性

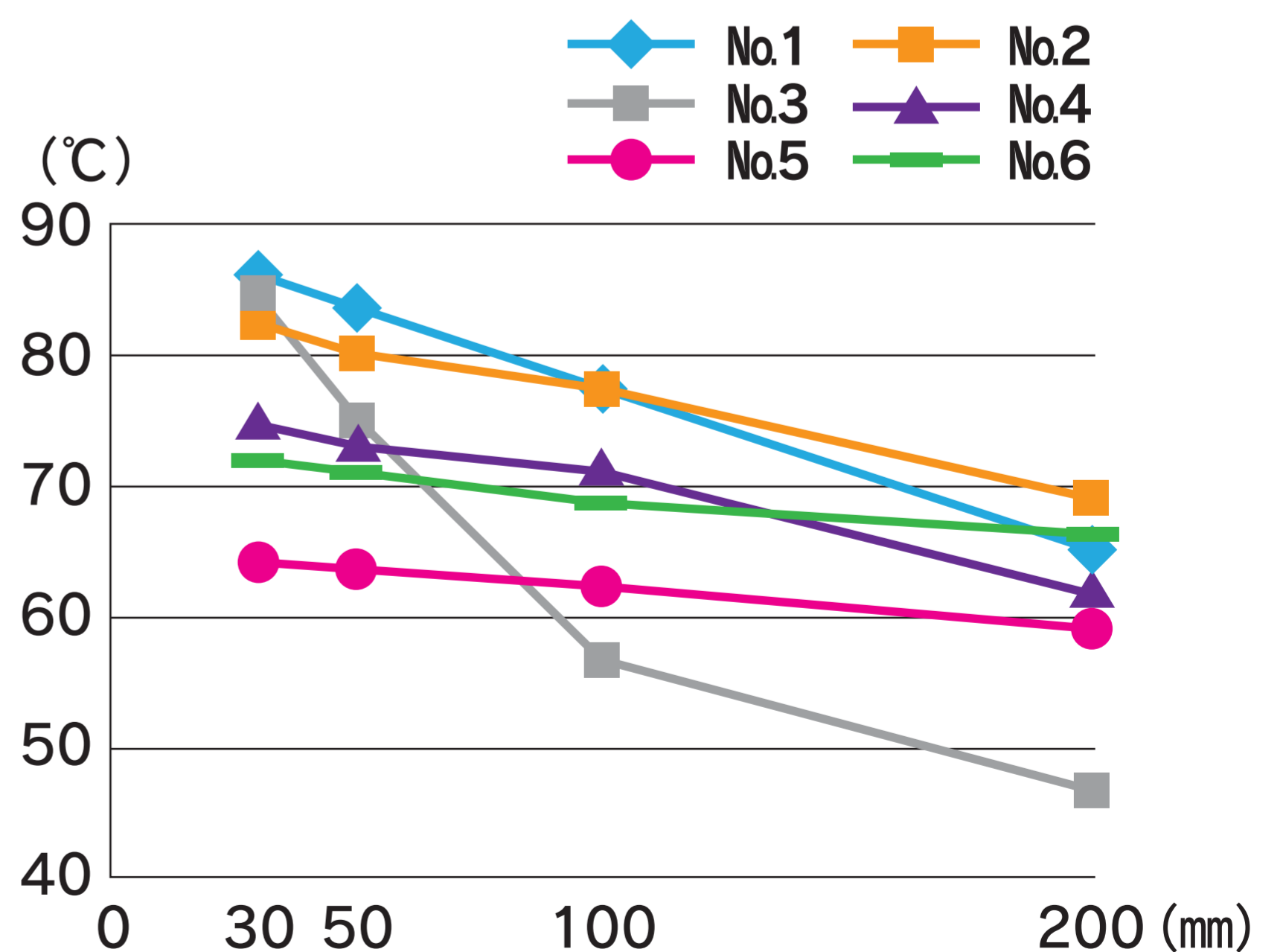
- 表面温度は、表2のとおりの結果でした。
側面の温度は、日本工業規格に定められている基準(70℃以下)を、全銘柄で満たしていました。
取っ手の温度は、基準(60℃以下)を、全銘柄で満たしていました。
スイッチの温度は、基準(75℃以下)を、全銘柄で満たしていました。
プラグには、基準は定められていませんが、他の部分よりも高い温度でした。
- 吹出口からの距離と温風温度の関係は、図1のとおりの結果でした。
全銘柄で、吹出口から距離が離れるほど、温風温度は低くなりました。
No.3については、30mmと100mmの位置での温風温度に約30℃の温度差がありました。

表2 表面温度

(単位:℃)

No.	側面	取っ手	スイッチ	プラグ
1	27.4	31.1	31.4	38.8
2	26.5	33.2	36.4	36.2
3	28.0	31.1	32.9	46.7
4	25.7	25.3	28.9	50.0
5	25.5	33.6	33.0	45.8
6	29.5	44.8	30.3	42.1

図1 吹出口からの距離と温風温度



ヘアドライヤーを調べてみました③

テスト結果

- 騒音は、表3のとおりの結果でした。

騒音が最大になるように、ヘアドライヤーの側面に接する位置に騒音計を置きました。風速が大きい銘柄ほど、騒音も大きくなる傾向が見られました。

表3 騒音

(単位:dB)

No.	1	2	3	4	5	6
測定値	88.8	84.0	80.0	84.5	92.0	88.8

性能

- 消費電力は、①のパネルに示した、表1のとおりの結果でした。

測定値は、表示されている定格消費電力と比べて93～106%で、基準(定格消費電力の90～110%)を、全銘柄で満たしていました。

- 吹出口からの距離と風速の関係は、図2のとおりの結果でした。

全銘柄で、吹出口から距離が離れるほど、風速は小さくなりました。

- 乾燥能力は、図3のとおりの結果でした。

水で濡らした馬毛をヘアドライヤーで乾燥させ、吸収した水分量と乾燥した水分量の比から、乾燥能力を算出しました。銘柄間で、約1.6倍の差がありました。

図2 吹出口からの距離と風速

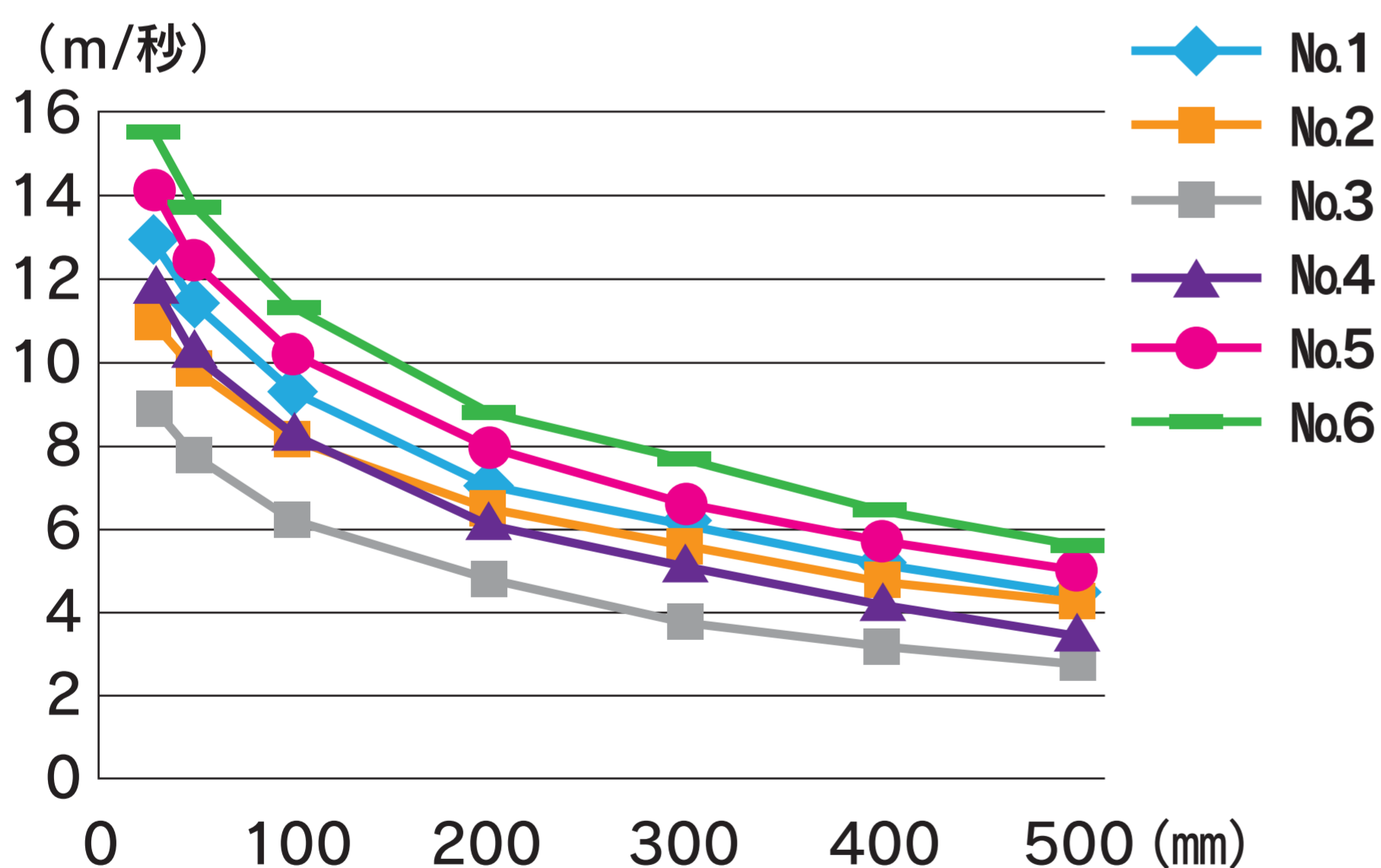
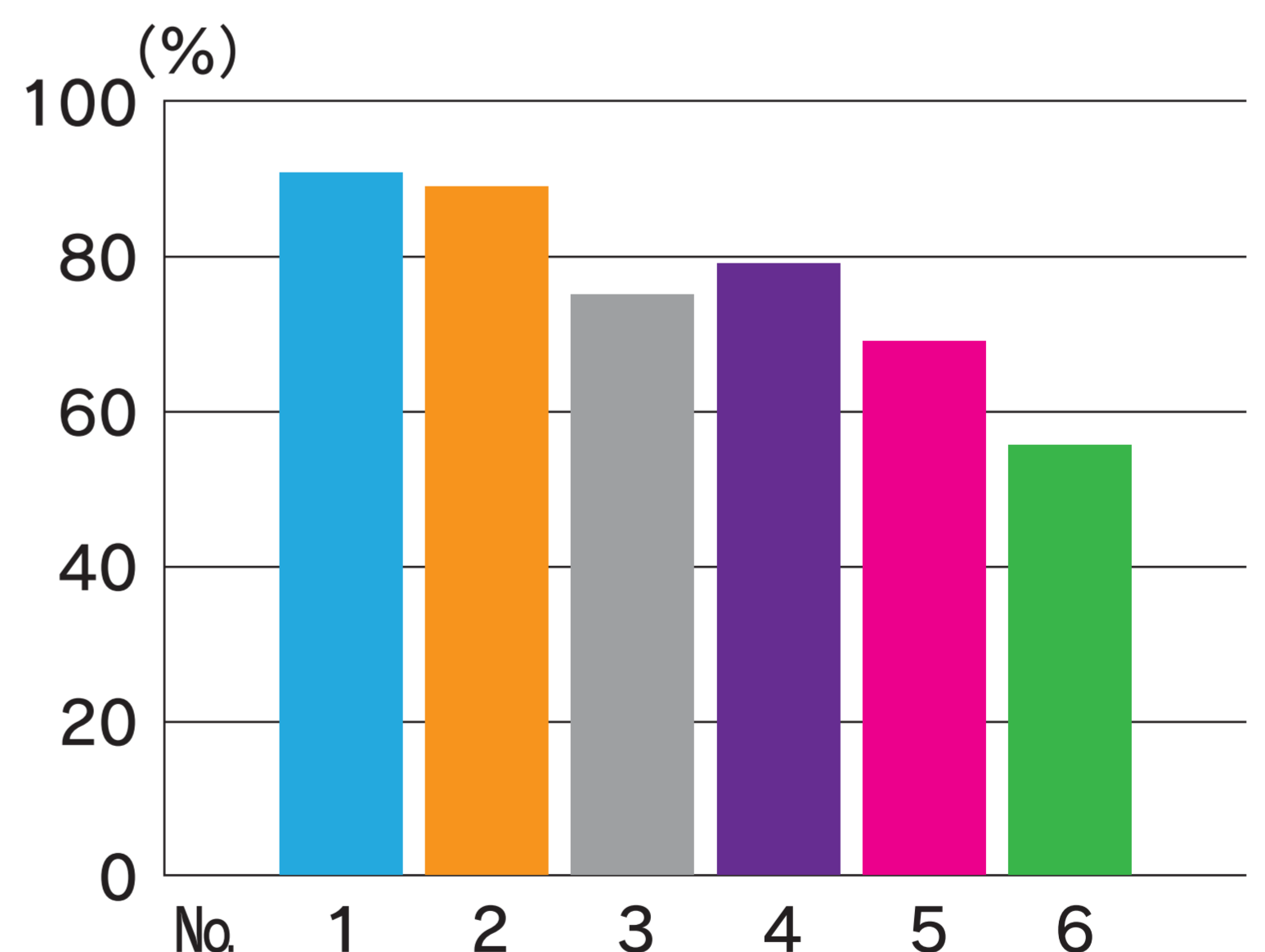


図3 乾燥能力



使用性

モニターがヘアドライヤーを操作し、評価しました。「絵表示が多く使われていて、冊子になっている取扱説明書はわかりやすい」、「吸込口が平坦な銘柄は手入れがしやすい」等の評価が得られました。

ヘアドライヤーを調べてみました④

消費者へのアドバイス

購入時の留意点

- 1 銘柄によって温風温度や風速、安全機能等が異なるので、取扱説明書等を確認し自分に合ったものを選びましょう。
- 2 第三者認証機関が試験や調査を行い、安全性が客観的に確認されたものに「S マーク」が表示できるので、より安全なものを使用したい方は、「S マーク」が表示された銘柄を選びましょう。
- 3 「絵表示が多く使われていて、冊子になっている取扱説明書はわかりやすい」、「吸込口が平坦な銘柄は手入れがしやすい」等の、モニターによる使用性のテスト結果を参考にしてください。

使用时等の留意点

- 1 取扱説明書を確認して使用して下さい。使い方を誤ると火災や怪我等の原因になります。
- 2 収納時に電源コードを本体に巻きつけないで下さい。電源コードが断線し、感電やショート等のおそれがあります。
- 3 吸込口や吹出口に付いたホコリや髪の毛等を歯ブラシ等で定期的に取り除いて下さい。詰まると異常過熱により発火するおそれがあります。
- 4 使用後は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- 5 一定の距離より近づけると、急激に温風温度が上昇するものがあります。毛髪に近づけすぎないように注意して下さい。
- 6 使用中や使用直後は、吹出口が高温になっているため触れないで下さい。また、プラグは本体側面等よりも高温になるため、取り扱いに注意して下さい。